

令和7年度 津軽広域クリーンセンターろ過装置ろ材入替業務仕様書

(目的)

第1条 本業務は、津軽広域クリーンセンターに設置しているろ過装置において、内部点検及びろ材の入替により性能維持を図ることを目的とする。

(業務場所)

第2条 本業務場所は、次に示すとおりである。

弘前市大字津賀野字浅田1273（津軽広域クリーンセンター）

(業務期間)

第3条 本業務の期間は、契約を締結した翌日から令和8年1月30日までとする。

(業務実施日)

第4条 本業務における作業は、設備の稼働を必要とする平日を除き行うこととし、発注者と受注者との協議により日時を決定する。ただし、設備の停止を伴わない準備等作業は除く。

(業務内容)

第5条 本業務の主たる内容は次のとおりとする。

1 業務内容

- (1) ろ過装置内部の点検及び清掃
- (2) 繊維ろ材カートリッジの入替
- (3) 試運転調整
- (4) 既設ろ材及び発生材の処分

2 ろ材仕様（ろ過装置1台当たり）

ろ過装置形式	AFU-R915-SSM	
繊維ろ材カートリッジ寸法	φ890×L2010	
繊維ろ材型式	(株)トーケミ製 AF-R（後継品可）	
繊維ろ材長さ	公称 1500mm	
繊維ろ材材質	ポリプロピレン（PP）製	
使用温度範囲	0～40度（清水時）	
充填本数	234本	
製品質量	乾燥時	約 220kg
	WET時	約 450kg（使用状況による）

(提出書類)

第6条 受注者は、業務契約締結後及び業務完了後に、次に掲げる書類を速やかに発注者に提出すること。また、発注者の審査により不適当と認められた場合、訂正したうえで再提出すること。

1 契約締結後に提出する書類

- (1) 業務着手届 1部
- (2) 業務責任者届 1部
- (3) 下記①から⑥を含む作業計画書 1部

- ①業務工程表
 - ②業務組織表
 - ③繊維ろ材カートリッジの規格、形状及び性能等が明示された資料
 - ④安全管理体制
 - ⑤作業に係る資格証等の写し
 - ⑥緊急時の体制
- 2 業務完了後に提出する書類
- (1) 下記①から⑤を含む業務完了報告書 2部
- ①作業工程毎のカラー写真に作業内容の説明と日付を記載した業務写真帳
 - ②点検・試運転結果記録
 - ③使用した繊維ろ材カートリッジの規格、形状及び性能等が明示された資料
 - ④既設カートリッジ及び発生材の適正処分に関する書類
 - ⑤その他発注者が必要に応じて求める書類

(遵守事項)

第7条 受注者は以下の事項を遵守すること。

- 1 受注者は、業務の実施にあたり関係法令等を遵守し、資格等必要とする作業においては資格等を有する者に行わせなければならない。
- 2 受注者は、当該施設の建造物及び工作物等に損害を与えないよう十分に養生し、作業を行わなければならない。また、当該施設の建造物及び工作物等に損害を与えた場合、ただちに発注者へ報告し賠償しなければならない。
- 3 本仕様書に明示されていない事項であっても点検業務の性格上必要なものについては、発注者と協議のうえ点検などを実施するものとする。
- 4 受注者は、本業務に関わる経費すべてを負担するものとする。ただし、業務に使用する水及び電力については、本業務上での漏電、地絡、その他電源トラブルが当該施設に波及しないよう対策を講じた場合は使用可とする。
- 5 ろ材の入替に際し、取り外したパッキン類は再使用してはならない。
- 6 既設の繊維ろ材カートリッジは、再利用を目的としメーカーへ返送すること。
- 7 受注者は、受注者に対して暴力団又は暴力団関係者による不当介入があった場合は、警察及び発注者へ通報・報告しなければならない。また、警察の捜査上必要な協力をしなければならない。
- 8 受注者は、本業務に関連して知り得た機密を第三者に漏らしてはならない。また、本業務完了後も同様とする。

(疑義)

第8条 この仕様書に定めのない事項又はこの仕様書の各条項に関する疑義が生じたときは、関係法令を遵守し、その都度発注者と受注者が協議しこれを取り決めるものとする。

(その他)

第9条 受注者は、発注者が実施する環境配慮に係る取り組みへの協力要請に対して、可能な限り協力すること。